



ホームページQRコード

東日本ジャーナル

http://www.jrtu-east.org/

JR東日本労働組合

〒108-0014 東京都港区芝5丁目33番36号

TEL (NTT) 03-3453-2107 (JR) 057-2290

発行者/藤本圭一 編集者/嶋田信胤

1部20円(但し組合費を含む)

2020春季生活統一闘争

3月3日(火)

全12地本エリアで 総決起集会を開催

全組合員参加!

JRで働く者同士、力をあわせて 賃上げを勝ちとろう!

JR労働者の力を結集して 2020春闘を闘おう!

2020春闘 三本柱で闘おう!

春季生活統一闘争を 全組合員でつくりだそう

東日本ユニオンは2月8日に「第七回中央委員会」を開催する。2020春闘要求をはじめとした、当面する活動方針を決定し、今中央委員会後には2020春闘も本格化していく。

中央本部は1月9日に第三回地本代表者会議を開催し、2020春闘の取り組みとして、①3月3日に全地本本部で同日に統一して「春闘総決起集会」を開催する、②集会への全組合員参加、③労働者同士の共闘・連帯の三本の柱を提起し、闘いのスタートを切った。

私たちは、昨年の2019春闘を振り返るとともに、組合員一人ひとりがこれまでの踏襲にとらわれず、「一歩前へ出る」という具体的な行動が必要であり、次世代を担う組合員やJR労働者に責任を持てる労働組合とすることが課題である。

組合員同士で声を掛け合い、「春闘総決起集会」への結集を促すとともに、「JR労働者の大きな輪をつくることをめざし、私たち東日本ユニオンから「春季生活統一闘争」を全組合員でつくりだしていこう!

2020春闘 いよいよ始まる!

1月28日、連合と経団連の労使トップ会談が東京都内で行われ、2020春闘がスタートを切った。連合は2019年12月3日に開催された中央委員会において、2020春闘の闘争方針を決定した。5年連続でベースアップ(ベア)は「2%程度」とし、

定期昇給相当分を含め4%程度の賃上げを求めるとしている。一方、経団連は7年連続でベースアップを容認して賃上げの勢いを維持する考えを打ち出しているものの、先行きが不透明な経済状況などを背景に一律の賃上げには慎重な姿勢を見せ、最終的には各社の判断に委ねる方針を示している。また、多くの大企業が採用してきた新卒一括採用や長期・終身雇用、年功型賃金制度などの「日本型雇用システム」の見直しも呼びかけ、役割や成果に応じた賃金制度を提案しているのに対し、連合は大企業しか視界に入っていないと批判。大企業と中小企業、正社員と非正規社員の一格差の是正に力を入れるべきだと主張している。

経団連の中西会長は「日本の賃金水準は先進国の中でも決して高くない。賃上げを続ける勢いは大事だ」と発言しているが、経営側

全組合員でつくりだそう

製造業の業績や景況感に米中貿易摩擦、中東情勢などもあり、賃上げ意欲は昨年より後退している感がある。各社一律ではなく、各社の実情に応じた賃上げを検討する姿勢を強調している。

各企業の労使の交渉を経て、大企業の回答は3月11日頃に集中する見通しである。主な労組の要求

旅行業の産別組織...2014年以降続いていた0.5%のベースアップ要求から1.0%の要求に引き上げ。

JR東日本の業績は

年末年始期間(12月27日~1月5日)のご利用状況は概ね順調に推移し、期間中の新幹線・特急列車等のご利用状況は455.2万人、前年比102%で前年を上回り、近距離きっぷの発売枚数は前年比102.7%と好調であった。また、1月30日にJR東

早期復旧に向けた経営側の方針と 現場社員の考えに「乖離」があることを指摘する!

12月25日に2018年度申第二三号「上越新幹線 上毛高原駅~浦佐駅間で発生した輸送障害」に関する申し入れの団体交渉を開催した。

この輸送障害は10連休となったゴールデンウィーク前半の4月28日、上越新幹線「新潟沢变电所」で停電トラブルが発生し、さらに発生から運転再開までに長時間を要したことで、多くのお客さまに多大なご迷惑をおかけしてしまつた事象である。

団体交渉では、運転再開までに長時間を要した原因とその対策など、再発防止に向けてハード・ソフトの両面から労使で多角的な議論を行った。

1. 「停電トラブル」が発生した原因と対策を明らかにすること。

原因

直接的な原因は変電所内の制御装置の基盤が故障したこと。あわせて変電所機器の誤った故障情報が発信されたことによるものである。基盤が「なぜ故障したのか」は特定できていない。社外有識者と調査委員会を立ち上げ、現在も調査論を出す予定である。

2. 「停電トラブル」が発生してから、復旧までに長時間を要した原因を明らかにすること。

今後の対策

従来の周期交換のあり方

五つの労働組合に エールを送る

2020春闘勝利に向けて、すべてのJR労働者の力を結集し、経営側に賃上げを求め闘う同じ労働組合として、JR東労組、

国労東日本本部、新鉄労組、JREユニオン、JRひがし労の五つの労働組合に対して、連帯のメッセージを送った。

3. 今後、設備トラブルが発生した時における早期復旧の対策を講ずること。

新幹線では「総合技術者」を養成しているほか、繁忙期には変電社員を拠点に配置し、迅速に対応できるようにしている。

新たにマニュアルを整備したが、早期復旧に向けて初動対応で「どこを見

るべきか」「何を確認するのか」などを網羅している。

復旧時間のダウンタイムを「いかにこなしていくのか」の課題もあると認識している。隣接箇所から駆けつけるなどを検討していく。

経営側の認識

「一人(管理者)による判断が優先する」との認識

「アルコール検知器」の導入目的を忘れてはならない

「アルコール検知器」の導入目的を忘れてはならない

「基準や見直し」について議論を行う

1月22日、申第十七号「アルコール検知器に関する申し入れ」の団体交渉を開催し、アルコール検査基準等の見直しに対する経営側の考え方を明らかにさせるとともに、検知器導入時の振り返りや現場実態、社員意識から議論をつくりだしてきた。

東日本ユニオンとして「飲酒に関わる事故を起こしてはならない」「これらも起こさない」という立場を明確にした上で、現在、乗務員だけが「アルコール検知器」による検査が行われている中、勤務前日から気を使って生活していること、現場での社員説明が足りないこと、数値を出さないことが目的になつてはならないことなどを主張した。

「アルコール検知器」の使用は、鉄道従事員として「飲酒をしてはいけない」ことを担保するものである。社員の日々の努力は認識して

◇今後の働き方改革などに
より、当直業務の軽減に
つながらざるよう機械に任
せる可能性はある。
◇検査前の飲食などの注意
喚起を含めて、検知器の
取り扱いを管理者と社員
双方に周知させていく。

東日本ユニオンの主張

■就業規則第18条で「社
員は、酒気を帯びて勤
務し、又は勤務中に飲
酒してはならない」と
定めているが、特に運
転士と車掌は「アルコ
ール検知器」で「酒気
帯び」と判断される数
値を出さないように、
日常生活から特段気を
使い、神経を擦り減ら
していることを理解し
てもらいたい。

■社員に対する説明が足
りていない。現場では
「なぜ、基準を変更し
たのか」が分からな
い。FaceTime(フ
ェイスタイム)での点
呼は、あくまでも対面
点呼の代わりと認識し
ているが「人による点
呼」が第一である。機
械化により「将来、当
直業務が無くなるので
はないか」と不安を抱
えている管理者もい
る。

■「0.05mg/l以上
の数値を出さないこ
と」が目的ではなく
「酒気帯びで勤務しな
い」ことが目的になら
なければならぬ。誤
って無意識に「インジ
ンでうがいした後」や
「飲食した後」に検査
を行い、数値を出して
しまう社員もいる。ア
ルコール検知器は飲食
検知器ではない。酒気

帯び以外で数値を出し
てしまった場合、すべ
て乗務させないことは
おかしい。

Q..なぜ、乗務員だけ
「アルコール検知器」
を使用した検査を行う
のか?

A..国交省の省令では対
象を動力車操縦者(運
転士)としているが、
直接、列車の運行に関
わる社員として車掌を
含めた乗務員を対象と
している。乗務員だけ
としているのは、お客
さまの目のほか、社員
に安心して乗務してい
ただくためである。す
べての社員が「酒気帯
び勤務はできない」の
が大前提であり、乗務
員以外でも管理者が社
員の酒気帯びを確認し
たら「不参」としてい
る。

Q..なぜ、以前よりも厳
しい基準としたのか?
A..省令では「酒気を帯
びた状態が確認でき
たとき」とある。新型の
検知器では数値が表記
されるようになり、
0.00mg/l以外の
数値は「酒気を帯びた
状態」と判断してい
る。なお「0.05mg
/l未満は0.00mg
/lとする」としてい
るのは「アルコール検
知器協議会」の見解に
基づく。

Q..「マウスピース」を
紛失したときの取り扱
いは?
A..当直助役に申告すれ
ば用意する。汚損し
た場合も自己申告によ
り、新しいマウスピ
ースと交換する。

Q..「アルコール検知
器」本体のメンテナ
ンスは、どのように行
っているのか?
A..本体を1年で交換す
る。また、取扱い説
明書では「2万回で交
換」となっているが、
社員が多い職場では、
複数の検知器を均等に
使用するよう指導し
ているので、使用回数
での交換は行わない考
えである。

**12項目からなる
第六次申し入れを提出する**

1月10日、申第十八号「変革2027を踏まえた新たなジョブプロローテションの
実施に関する第六次申し入れ」を経営側に提出した。
2019年3月28日に提案を受けて以降、五次にわたり団体交渉を重ねてき
た。その中で人事運用は任用の基準としながらも、社員一人ひとりが主体的に
さまざまな経験を可能とし、将来像を描けるよう「夢や希望を実現する」と言われ
ているが、これまでのライフサイクルとの違いから、依然として今日段階におい
ても組合員が将来像を描く上で具体的にすべき疑問が多岐にわたって現存してい
るため、12項目にわたる申し入れを行い、内容を明らかにさせていく。

- 【申し入れ項目】**
1. 現行のライフサイク
ルにより同一箇所、同
一担務で10年以上経過
している社員(営業
職、輸送職、車掌、運
転士)に対する評価に
ついて明らかにするこ
と。
 2. 社員が描く「夢や希
望」と担務変更の需給
における人事運用の考
え方を明らかにするこ
と。
 3. 新幹線乗務員公募制
異動と公募制異動(エ
リア)の考え方の違い
について明らかにする
こと。
 4. 運転士、車掌の指導
担当は主務職に限定し
ているのか明らかにす
ること。
 5. 運転士、車掌以外か
ら指導担当への担務変
更はあるのか明らかに
すること。
 6. 新幹線運転士(新
規)の免許取得に関わ
る学科講習期間及び学
科講習内容を明らかに
すること。
 7. 新幹線運転士(新
規)の免許取得に関わ
る技能講習期間及び技
能講習内容を明らかに
すること。

8. 車掌経験の無い社員
が新幹線車掌になった
場合の研修期間及び研
修内容を明らかにする
こと。

9. 車掌経験の無い社員
が新幹線車掌になった
場合の見習い期間を明
らかにすること。

10. 新幹線運転士(新
規)から在来線運転士
に担務変更した場合の
免許取得に関わる学科
講習並びに技能講習の
考え方を明らかにする
こと。

11. 駅、車掌、運転士以
外の系統から車掌、運
転士へ担務変更する場
合は、2年間の駅業務
経験を必要とするのか
明らかにすること。

12. 新幹線電気車運転免
許を取得している社員
が新幹線運転士へ担務
変更する場合の考え方
を明らかにすること。

1月24日に新幹線統
括本部より、ダイヤ改
正の特徴や台風の影
響と復旧計画、労働条
件の変更などの「202
0年3月ダイヤ改正等
について」提案を受け
た。※東日本ユニオン
NEWS No.157号参
照

12月24日に冬期を万
全な体制で迎えるた
め、過去に発生した問
題や克服すべき課題を
含め、各地方から寄せ
られた問題を12項目の
要求にまとめ、幹申第
一号「2019年度冬
期に関する申し入れ」
を提出した。※東日本
ユニオンNEWS No.1
59号参照

2020年3月ダイヤ
改正では「はやぶさ」の
増発と「たがわ」の増
発をはじめとした、新
たな商品を提供するこ
ととしている一方で、多
様な働き方を実現するた
めに乗務員運用行路に
おいても乗務割交替の
枠外として短時間行路
が各区所で設定されて

**新幹線の業務課題を
取り組む**

おり、今提案に関して
現場第一線で働く組合
員から意見や疑問の声
が寄せられていること
から、1月16日、幹申
第二号「2020年3
月ダイヤ改正等につ
いて」に関する申し入れ
を提出した。※東日本
ユニオンNEWS No.1
62号参照

「2020年新春の集い」を開催

1月9日、本部事務所
において「第三回日本代
表者会議」を開催し、2
020年春闘の勝利に向け
た意思統一を行った。
会議終了後、各地本代
表者と本部役員による
「2020年新春の集
い」を開催した。来賓と
して海江田万里衆議院議
員、全日本交通運輸産業
労働組合協議会・慶島事
務局長、ジェイアール
東日本労働組合退職者連
絡会・織戸事務局長、鉄
道全国交通共済協東日
本事業本部・岡村事業推
進部長、明治安田生命保
険相互会社・木村法人営
業第二部長、鈴木法人営
業部主任に駆けつけてい
ただき、激励と連帯のあ
いさつを受けた。



講習並びに技能講習の
考え方を明らかにする
こと。

委員長は、冒頭昨秋に
発生した台風・豪雨によ
り被災された組合員・ご
家族の皆さまへのお見舞
いを申し上げ「組織強化
は一定の取り組みの評価を
確認した上で『組織拡
大』を意識した提起を行
い、具体的な取り組みを
さらに強化していく」
「2020春闘は労働組
合未加入者が7割のJR
東日本の中で、職場での
春闘議論を通じてJR労
働者一体となって雰囲気
づくりから共に闘い要求
満額回答をめざしてい
く」「新たなジョブ
ローテーション」について
は、まだまだ組合員の不
安や不満は解消されてお
らず、最後まで諦めない
で闘いを継続していく」
「今年「東京オリンピック
」が開催されるが、私たち
は労働者であり、奉仕者
ではないということを忘
れてはならない。長野
オリンピック期間中に発
生した「青柳事故」の教
訓を振り返り生かしてい
く」「2020年を振り
返ったときにしっかりと
総括できる一年を過ごし
ていこう」と述べた。

新春の集いでは、12地
本各代表者から「今年の
抱負」が語られ、気持ち
も新たに2020年のス
タートを切った。

12月24日に冬期を万
全な体制で迎えるた
め、過去に発生した問
題や克服すべき課題を
含め、各地方から寄せ
られた問題を12項目の
要求にまとめ、幹申第
一号「2019年度冬
期に関する申し入れ」
を提出した。※東日本
ユニオンNEWS No.1
59号参照

1月9日、本部事務所
において「第三回日本代
表者会議」を開催し、2
020年春闘の勝利に向け
た意思統一を行った。
会議終了後、各地本代
表者と本部役員による
「2020年新春の集
い」を開催した。来賓と
して海江田万里衆議院議
員、全日本交通運輸産業
労働組合協議会・慶島事
務局長、ジェイアール
東日本労働組合退職者連
絡会・織戸事務局長、鉄
道全国交通共済協東日
本事業本部・岡村事業推
進部長、明治安田生命保
険相互会社・木村法人営
業第二部長、鈴木法人営
業部主任に駆けつけてい
ただき、激励と連帯のあ
いさつを受けた。

スキー場、網張、雲石、
安比(スキーハウスがま
だプレハブ小屋でした)
と、今はホームゲレン
ドとして練習をしている大
鰐スキー場等で、年間40
日程度滑り込んでいまし
た。

子供に手が掛かり始め
ると滑る時間が無く指導
員資格を返納、その後10
年ぶりに再開し、今では
仲間と一緒にスキー合宿
するまでになりました。

合宿といえば、5年前
の網張合宿のことです。
1日目に3時間ほど
滑ると、腿がパンパンで
板を押さえる脚力が無く
なりこれではダメだと思
っていました。

4月〜11月頃まで時
間を見つけて10kmのラン
ニングで脚力をつけ、体
力維持に励んでおり、目
標は中・急斜面をアウト
エッジで小回り、大回り
技術の取得です。

スキーを思う存分堪能
した帰りには、近隣
の温泉でゆ
つたりと身
体の疲れを
取り、帰宅
後は日本酒
(冷)で乾
杯!心の疲
れも癒しま
す。今では
日本酒にど
つぶりはず
っています。

秋田の美味しい日本酒
のおすすりは「やまとし
づく」「浦城」「山本
(ミッドナイトブルー)の
生は最高!」です。

スキー、温泉、日本酒
でストレス解消!明日の
活力にしています。



私の○○○ストーリー
秋田地方本部
三浦 栄孝 さん(秋田車両センター)

指導員から
酒導員(しゅどういん)へ
私がスキーにのめり込
みきっかけは、パブルの
頃「スキノウ」を見

お詫びと訂正
東日本ジャーナル第76号(2020年1月
1日発行)の一面、写真撮影者の安部務
さんの名前が間違っております。
お詫びと訂正をいたします。
誤:阿部 → 正:安部(敬称略)